

原 著

淘汰ブロイラー鶏における脊椎膿瘍

木南藍子 御領政信[†] 佐々木 淳 生澤充隆 岡田幸助

岩手大学農学部 (〒020-8550 盛岡市上田3-18-8)

(2008年2月12日受付・2008年9月11日受理)

要 約

3カ所のブロイラー農場において出荷前に自主淘汰された鶏84例について病理学および細菌学的に検索した。臨床的にはほとんどが消瘦および発育不良を示していた。剖検では淘汰鶏の70%以上(59/84)に脊椎症が認められ、31例は脊椎すべり症、27例では脊椎椎体に膿瘍を形成しており脊髄を圧迫していた。組織学的には膿瘍形成椎体では肉芽腫性炎がみられ、グラム陽性球菌およびグラム陰性桿菌が認められた。脊椎病変部における膿瘍およびその他感染性病巣部より、サルモネラ属菌、大腸菌、ブドウ球菌が検出され、黄色ブドウ球菌はC群の1例からのみ検出された。

——キーワード：脊椎椎体，発育不良，骨髓炎，脊椎膿瘍，脊椎症。

----- 日獣会誌 62, 289～293 (2009)

[†] 連絡責任者：御領政信 (岩手大学農学部獣医学科獣医病理学研究室)

〒020-8550 盛岡市上田3-18-8 ☎019-621-6217 FAX 019-621-6274 E-mail: goryo@iwate-u.ac.jp